

●ピグマリオン英才能力開発コース

新西町校・田島校

ピグマリオン教育の理念

① 「教える」のではなく「学ばせる」「感じさせる」教育

子どもは、教えるよりも自分で見つけたり、発見したりすることを喜びます。ピグマリオンでは、もちろんプリントも使いますが、様々なオリジナル教具によって「実感させる」ことにより、子どもたち自身の五感に訴える体験を重視します。この体験を通じて、子どもたちの思考力・想像力が伸びていくのです。

② 「愛する心を持った子ども」を育む

人間の能力の中で最も大切な能力こそ、「人を愛することができる」「高い社会性と思いやりを持つことができる」能力です。知識を詰め込んで教えても、そのような大切な能力は育ちません。自ら感じ、学び、問題解決をしていく中で、他の人に対する思いやりの心が育っていくのです。

③ 親子が共に課題に取り組み、喜びを共有する

ピグマリオンの教育は、親子が同室し一緒になって取り組みます。親が子どもを愛し、子どもが親を信頼することこそ、健全な人間育成の基礎となります。一緒になって課題に取り組むことで、親子のきずなをより一層深めて欲しいと考えています。お子さまが新しく「できる」ようになった時に、一緒になって喜んであげてください。保護者の励ましがあることで、お子さまは次のチャレンジに向かって進んでいく原動力を得ることになります。

④ 「全体を見る」能力を育成する

全体を見る能力は、物事を観察する時の注意力や、五感で感じ取る能力に大きな影響を与えます。全体に注意を行き渡らせて観察することができることで、静かな心で学習に取り組むことができ、精神的に落ち着いて物事を考えることができるのです。

⑤ 「笑顔で」楽しく学べるので自信がもてる

ピグマリオンの教育法では、子どもたちが「できるようになったこと」を評価します。教えこむことによりできないことに目を向けるのではなく、前より多くのことを学んだことをほめるのです。したがって子どもたちは自信にあり、学ぶことに喜びを感じるようになるのです。

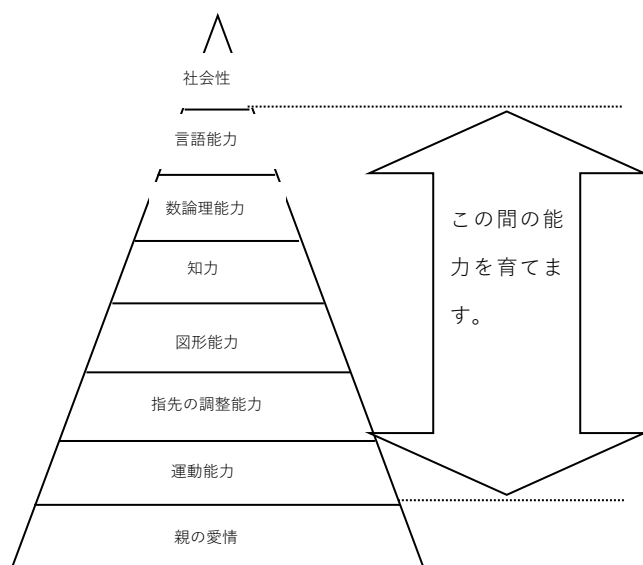
⑥ 幼児の内に、小学校低学年の学習内容を身につけられる

ピグマリオンは、学校の先取り教育ではありません。無理に知識を詰め込むことは、お子さまの学ぶ事への意欲を低下させるだけで、弊害しかないと考えます。しかし、感覚として数学を身につけた子どもたちは、幼稚園の内に、小学校2～3年の学習内容まで進みます。加減計算、漢字交じりの文を読むことなど、従来の教育では考えられないような成果があるのです。体系立てた独自の教育法がお子さまの人生を豊かに実りあるものにしていくのです。





能力育成のための6領域



最近の脳認知科学では、能力を6つの領域に分けて考えています。「運動能力／指先の調整能力」「図形形態認識能力」「空間位置把握能力」「数論理能力」「言語能力」「社会性」の6つです。

ピグマリオンの幼児教育は、このうち「図形」「空間」「数論理」「言語」の4つの能力を中心に育成していきます。これらの能力を育むことで、高い社会性を持った心やさしい子どもが育つのです。

①運動能力／指先調整能力

指先を活発に動かせば、脳の機能も円滑に働いてきます。指先能力の発達による親からの肉体的な自立が、精神的な自立、そして知能の自立につながります。この能力を幼児期に育成することで、②～⑥の能力の育成を円滑にします。

②図形形態認識能力

図形を把握するための適切な刺激を与えることで、図形的刺激に反応する力を育てます。図形概念は、学習によって得られるものなので、幼児期に正しい方法で教育的な刺激を与えておく必要があります。

③空間位置把握能力

私たちが住むこの世界は、3次元空間です。空間という概念は、人間が自然を捉えるために創り上げたものですから、勝手に身につけていくものではありません。幼児期に空間把握能力を適正に育成する必要があります。

④数論理能力

この能力は、数を数えたり計算をしたりという能力ではありません。数の概念をつかむことができるように指導するだけです。数論理能力とは、現実を数量的(長さ・時間・かさ・重さ)に把握する能力のことです。

⑤言語能力

言語能力は、国語科に限らず、全ての教科・性格・人生も左右する基本能力です。ひらがなから教えるのではなく、「文章を聞く」→「文章を見る」→「文字を書く」→「文章を書く」という、母国語を獲得していくのと同じ順番で書き言葉を習得させていきます。

⑥ 社会性

①～⑤の能力を持つ子どもは、広い視野・全体への注意力・自ら学ぶ力がついているので、心も穏やかです。これらの能力を身につけたことを前提に、初めて自分の人生を豊かにし、社会の役に立てる子どもに成長します。

教具の紹介(多くの教具がピグマリオン・実感算数共通です)

ヌマーカステン



『5進法』から数の処理を学び、20までの足し算・引き算を自在に行えるようにするための教具です。数の概念を、実感的に学ぶことができるように工夫されています。

ひも模様



楽しく遊びながら、集中力・注意力・持続力といった基礎能力を養い、指先調整能力と空間把握能力を関連付けさせながら同時に伸ばすことができます。

色板トントン



図形をお手本どおりに置いて、釘を叩いたり抜いたりすることで、指先能力を始め、図形形態把握能力を育てることの出来る教具です。遊びの中で楽しみながら指先能力を育成します。

ウッディーブロック



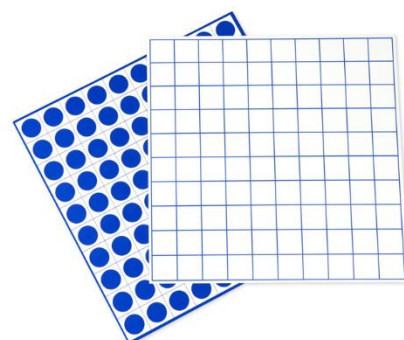
数能力を養うのに最適な教具です。見えない積み木の数をイメージし、ブロック単位で合成・分解することにより、数の成り立ち、位取り、掛け算、割り算、分数の基礎能力の育成に驚異的な成果を発揮します。

ペリカンパズル



平面図形の形に彩った木のパズルを組み合わせるにより、半円や円、正方形、ひし形を形づくる事が出来ます。幼児期に必要な、図形形態認知能力・合成分解能力を、楽しく育成していただける教具です。

ドット棒C型



一・十・百・千までの位の数を、視覚的にとらえさせるための教具です。これにより、1万までの加減の暗算をすぐに行えるようになります。割り算、かけ算、面積、約数、倍数、分数、等差数列の考え方も理解させられます。

他にも算数の世界を楽しく学べる教具がたくさんあります。

体験授業を受けていただき、受講曜日を決定しています。お気軽にお問い合わせください。